

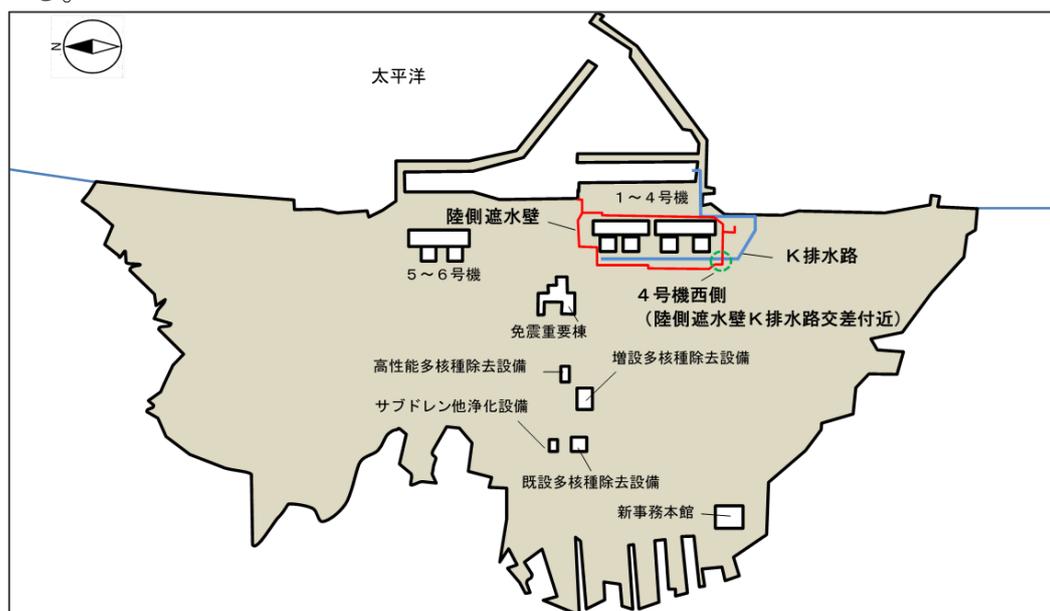
福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年12月13日（月）
- 2 確認箇所
4号機西側（陸側遮水壁K排水路交差付近）
- 3 確認項目
陸側遮水壁測温管の温度上昇の対応状況
- 4 確認結果の概要

1～4号機建屋周囲に設けられている陸側遮水壁（凍土壁）（以下「遮水壁」という。）の一部（K排水路交差付近）において地中温度が0℃を超える状態が継続する事象（10月28日東京電力公表）が発生した。

12月6日から、試験的に止水し、地下水のK排水路への流入及び測温管の温度上昇の変化を確認するための鋼管設置作業が行われていることから、前回（12月6日）に引き続き、鋼管設置作業の状況を確認した。（図1）

- ・陸側遮水壁の一部を融解させていると思われる地下水の流入を抑制するため、鋼管を8本設置するとしており、現場確認時は8本目の鋼管を設置する作業が行われていた。（写真1）
- ・東京電力では、止水対策期間中は測温管の温度などを監視し、試験的な止水の効果を確認していくとしている。なお、遮水壁内外の水位差は十分に確保されていることから遮水壁の遮水性は確保されていると評価している。



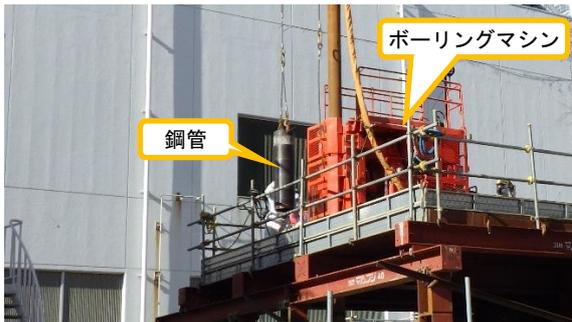
（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
鋼管設置箇所の状況
(南東側から撮影)



(写真1-2)
鋼管設置箇所の状況
(北東側から撮影)



(写真1-3)
ボーリングマシン及びクレーンで
吊り下げられた鋼管

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。